

後帰国した。

---

図書紹介

◎熱帯樹種の造林特性(1)~(3) (熱帯林造成技術テキスト No. 8~10) 森 徳典  
ほか編 A5版 (1)225 pp. 1996. 3刊;(2)277 pp. 1997. 3刊;(3)302 pp.  
1997. 12刊;(財)国際緑化推進センター, 領価各2,500円

熱帯林保全の重要性は木材資源の問題だけでなく、今や地球環境問題として全世界に認識されている。わが国も熱帯林の保全に関わる多くの活動を行って国際的にも貢献しつつある。熱帯林問題に取り組む場合、多様な熱帯樹種についての多くの知識を必要とする。特に熱帯林保全のためには、樹種の生理・生態的性質にもとづいた造林的取り扱いの知識が不可欠となる。すでに雑誌「熱帯林業」(旧, 新)では20数種の造林特性をシリーズで解説しているが、一部は最近の情報によって改訂し、さらに大幅に樹種をふやして、国際緑化推進センターの普及活動の一つとして、新たに3巻のシリーズにまとめられた。

集録された樹種は湿潤地帯から乾燥地帯を含む広範な熱帯地域の主要樹種で106樹種・群(83樹種, 16属, 7種類)に及ぶ。編集者や執筆者(42名)はいずれも熱帯林業の研究や協力事業に深い経験をもつ方々であり、本書の引用文献にもわが国研究者の業績がかなり見られるように、わが国の熱帯林研究と経験とが着実に蓄積されてきて解説の迫真性を高めているように感じられた。造林経験の多少による資料, 文献の精粗もあって解説項目は完全には統一されていないが、樹種の形態からはじまって、分布・開花結実・種子・育苗・植栽・適地・保育・天然更新・成長・病虫害・用途等の基本的特性にわたっている。とくに更新関係では苗木植栽だけでなく直播きや天然更新など実用的な技術にもふれた樹種が多いこと、樹種の生態的特性や適地がよく記述されていること、成長データがよく収集されていること、さらには育種など最新のデータも加えられていることなどがこれまでの類書に比較して目立っている。また病虫害の記述については特に熱帯病虫害の専門家の校閲を受けるなど誤りのないよう務めている。各巻に学名・一般名のくわしい索引があり、第3巻には1~2巻の索引も再掲されているが、慾をいえば全巻通しての索引があるとより便利かと思われた。ともあれ熱帯造林のテキストとしては、最もよくまとめられており、熱帯林関係者にとっての座右の書となると思われる。(蜂屋欣二)